

オーパーを讀め

OLD POWER

つつみ・ぎょう 1961年、東京大学法学部卒。同年、文藝春秋入社。「文藝春秋」編集長、第一編集局長、出版総局長などを歴任。常務を経て退社。著書に「昭和の三傑—憲法九条は救国のトリックだった」がある。

堤 堯



阿呆の遠吠え

<358>

い よいよNHKがおかしい。さきごろ放映したスペシャル番組の

第一回「アジアの『一等国』」だ。

日本の台湾統治時代を取り上げ、まずは「人間動物園」と称する写真を掲げる。ロンドンの日英博覧会に先住民パイワン族を連れて行き、これを見世物にしたとする。彼らは民族の踊りや模擬戦闘を披露した。大相撲や歌舞伎の海外公演と同じだ。どこを押せば「人間動物園」なのか。

ついで台湾総督・後藤新平が登場させ、もっぱら極悪非道の庄政者として描く。後藤はこの「化外の地」を近代化した。四百キロの縦貫鉄道を敷き、道路、学校、病院などのインフラを整備した。主要輸出品の樟脳や米、砂糖キビの殖産にもつとめた。中で最大の

台湾が尊敬する日本人を悪人扱い NHKは北京放送に変わったのか

貢献は烏山頭水庫、別名「八田ダム」の建設だ。

本欄269回で触れたから詳述しないが、技術者・八田与一が11年がかりで完成させたこのダムのお蔭で、かつてはマリアアが猖獗を極めた15万ヘクタールの荒蕪の土地が緑の沃野に一変し、年に3毛作を可能にした。切り拓いた水路の長さは万里の長城の6倍におよぶ。台南地帯200万人の飲料水でもある。

のちに八田は戦死、夫人はこのダムに身を投げて夫に殉じた。八田夫妻の物語は台湾で有名だ。番組には八田の「八」の字も出て来ない。八田を任命したのが後藤新平だ。2人はいままも台湾人に慕われる。

小 欄は台湾の元総統・李登輝氏からシカに次の言葉を聞いた。「後藤新平は私の先生です。後藤新平

が台湾の近代化をやり、私が民主化をやりました」

この番組を彼が見れば、いったい何というか。日本の植民地政策は、もっぱら悪と見なされる。しかしアジアを収奪し尽くした欧米列強のうち、日本のように巨費を投じてまでその地に福利をもたらした例があるか。八田夫妻のような献身の例があるか。真聞にして知らない。

06年、台湾の雑誌「遠見」が20歳以上の1000人にアンケートした。「一番移住したい国」「一番尊敬する国」の筆頭に、日本が挙げられている(盧千恵「私のなかのよき日本」)。

NHKは日本の国营放送だ。それが北京放送(中央電視台)に変わったかと思えない。番組人事を総入れ替えせよ。さもなければ、受信料不払い運動で対応するしかない。



このコーナーの本、第2巻「阿呆の遠吠えII」が発売されています。新書判、244頁、税込840円。価840円+送料315円)でお送りいたします。東京スポーツ新聞社出版部 0・0819 ファクス03